

令和2年度に向けた我が校の教育ビジョン

作成年月日：令和元年12月13日

伊丹市立東中学校

(学級数22学級、生徒数664人)

1 本年度の取り組み状況(11月末現在)

◆11月6日 伊丹市教育委員会指定 研究発表会 実施

(1) 学力の充実

- ねらいを明確にし、振り返りを効果的に行うわかりやすい授業づくり
(生徒につけたい力の明確化)
- アクティブ・ラーニングを活用した授業の工夫
- ICT機器を活用した授業の工夫
- 全国学力・学習状況調査、NRT検査データに基づく効果的な学力向上策の実施
- カリキュラム・マネジメントの実現に向けた、PDCAサイクルの確立
- ナビゲーションシートを活用したテスト範囲の提供と計画的な家庭学習の推進
- 宿題の出し方の工夫
- 学校図書館の活用と読書量の充実
- 「明日につながる連絡帳」の徹底活用
- 特別支援教育支援員と連携を密にした生徒の実態把握に基づく授業サポート

(2) 学級経営・学年経営の充実

- Q-U検査(6・11月)を活用し、ルールとリレーシヨンの確立した学級づくり
- 行事の充実と学級・学年でのリーダー育成
- 社会的自立に向けたキャリア教育の推進
- 教育環境の整備と充実
- 多様な教育的ニーズに対応した特別支援教育

(3) 豊かな心・健やかな体の育成

- 5分前行動の徹底と集団指導の徹底
- 道徳科の授業改善
- メリハリのある部活動の実施。部活動集会の充実
- 生徒会活動の活性化(自主的な学校生活改善とリーダー育成)
- 「東中グレードアップ週間」等課題に応じたキャンペーンやプロジェクトを取り入れた指導の徹底
- いじめ・不登校の未然防止と早期の組織対応

(4) 地域や保護者、幼小中高との連携

- コミュニティ・スクールの推進と学校活性化
- 東中ファミリーサポーターズ、PTAとの双方向の連携強化と外部人材の活用
- 土曜学習「サタスタ東」との連携強化。毎週開催
- 「東中地域活性隊」を核とした生徒のボランティア活動の推進
- 幼小中高連携の推進
- 学校運営協議会の小中連携の推進
- すこやかネットTM2の活用

2 めざす学校像

- 地域に支えられ、地域を支える学校
- 学習・スポーツともに全力を尽くし「文武両道」を目指す学校
- 「和のこころ」を大切にする規律正しい学校

3 めざす子ども像

- 知・徳・体のバランスがとれ、健やかな心と体を持つ、「生きる力」のある生徒
- 自ら学び、自ら考え判断し主体的に行動できる生徒
- 夢や目標を持ち、自分に自信と誇りが持てる生徒
- 感謝や思いやりの心を持った生徒

4 めざす教師像

- 授業で勝負する教師
- 生徒への愛情や使命感を持った教師
- チームで組織的に動く教師
- 保護者や地域の願いに応える教師

5 我が校の特色

(内部環境)

- 「み・そ・あ・じ」を重点目標として取り組んでいる。
- 「無言清掃」「立腰」「黙想」の徹底。
- 生徒のボランティア組織「東中地域活性隊」を結成し、100名を超える生徒たちがボランティア活動に取り組んでいる。
- ミドルリーダーが若手教員を指導し、組織的な学校運営が行われている。

(外部環境)

- 小学校と隣接しており、連携した取り組みが可能である。
- 地域や保護者に学校を支援しようという熱い思いがあり、「東中ファミリーサポーターズ」が組織されており、学習・図書館活動・掲示物作成・校内美化等の支援が行われている。
- 保護者による校内の見守り活動を定期的に行っている。

6 我が校の研究概要

研究テーマ「夢を描き、主体的に行動できる生徒の育成 ～目標と評価の一体化による共に学び合い深め合う授業の工夫～」(平成31年度)

7 学力向上に向けた取り組み

- (1) 生徒の表現力や学習意欲の向上のための指導方法の工夫
 - NRT検査による検証結果の活用・改善点の明確化・指導方法の工夫を行う。
 - ノート指導を徹底し、懇談会等で活用する。
 - 教育課程において共同学習、少人数授業、演習の時間を設定する。
 - 毎月1回のクラスチェックを全学年で実施し学習環境を整備する。
 - 授業・行事等を通し、認めて、褒めて、自信をもたせ自尊感情を育成する。
- (2) 補習や補充学習の充実
 - 3年生は主に11月以降、7校時学習と放課後補充学習を実施する。
 - 1, 2年生は、テスト前の7校時学習と補充学習を実施する。
- (3) 家庭・地域と連携した学習習慣の定着と学習環境の整備
 - 保護者、地域との連携による、土曜・夏期休業中の学習会「サタスタ東」の充実を図る。
 - 家庭と連携し、家庭学習の充実を図る。
 - 生徒会集う活性化に向けた、東中グレードアップ週間等による生活習慣等の見直し。

8 教職員の勤務時間適正化に向けた取り組み

- (1) 毎週金曜日を教職員定時退勤日（19：00）、ノー会議デーに設定する。
- (2) 平日週1日以上、休日毎週1日以上のノー部活デーを設定する。
- (3) PC会議を行い、会議時間短縮、勤務の効率化及び紙等の節約に繋がっている。
- (4) 職朝連絡システム（PC連絡）を活用し、始業前の時間確保を行う。
- (5) 職員会議、研修会等を活用して教職員の意識改革を図る。
- (6) 記録簿を記入し、教員の勤務時間の実態把握に努める。
- (7) 教職員ルールブック（業務の手引き）を活用している。
- (8) 事務職員の学校運営への参画・支援を行っている。
- (9) 支援が必要な生徒の関係機関等との連携を図る。

9 今後に向けて

現在、本校の生徒たちは落ち着いた学校生活を送っており、学習活動・部活動等に一生懸命に取り組んでいる。思いやりの心、感謝する心などを育成していくため、心の教育の充実を図り、「あたり前をひたむきに」できる生徒を育成していく。

来年度も以下の取り組みを行っていく。

- (1) 研究目標・研究仮説を見直し、授業力向上、授業改善等に取り組む。
- (2) キャリア教育を推進し、教員の資質向上、人間力向上、生徒の「生きる力」を育てる。
- (3) 小人数授業、放課後学習、個別指導、ノート指導などを徹底する。
- (4) アクティブ・ラーニング等を取り入れ、多面的かつ深い学びの充実を図る。
- (5) み（みだしなみ）、そ（そうじ）、あ（あいさつ）、じ（じかんを守る）」を合い言葉に、礼儀・規律を重んじ、基本的な生活習慣を徹底する。
- (6) 道徳教育の充実により豊かな心を育成し、いじめゼロを目指す。
- (7) 「立腰教育」「無言清掃」を継続して徹底する。
- (8) 学習と部活動・文化的な活動の両立「文武両道」を目指す生徒を育成する。
- (9) 幼稚園、小学校、高等学校との連携事業の推進を図る。
- (10) 「東中ファミリーサポーターズ」「東中地域活性隊」を中心として、地域・保護者・学校との連携を図り、コミュニティー・スクールを推進していく。

伊丹市立東中学校 校長 垣内 修

我が校のHPのアドレスは・・・<http://www.higashi.itami.ed.jp/>